



School

教育情報 桂川っ子

【問合せ先】桂川町教育委員会 ☎65・1149

題字：桂川中学校美術部  
小林 彩音 さん

「体験から学ぶ」2

桂川小学校校長 栗原 聡

桂川小学校の子どもたちは、体験を通していろいろなことを学んでいます。

特に、「子どもたちの命と安全を守るために」取り組んだことを紹介します。

【交通安全教室】

福岡県ト

ラック協会と遠賀自動車学校の協力のものと、トラックや自動車の前後からの飛び出しによる危険性や、左折時での巻き込みなど、実際にスタントマンによる事故のデモンストラーションを行った交通安全教室を実施しました。  
子どもたちは、改めて交通事故の恐ろしさを体感し、事故にあわないようにしようという気持ちを持つことができました。



【総合避難訓練】



秋の火災予防週間では、飯塚消防本部・桂川消防署・山田消防署・桂川消防団による総合避難訓練を実施しました。

今回は、家庭科室から出火したという想定で、逃げ遅れた人を3階の屋上から、はしご車で避難させる様子や放水の様子を見せていただきました。

このような体験を通して子どもたちは、火の怖さを学び、絶対に火事をおこしてはいけないという気持ち新たにしました。



本校の一年間の体験活動

桂川東小学校校長 古賀修治

四月、三年生が、ひまわりの種を牛乳パックに植えながら…

「先生、スコップが足りません。」

「じゃあ、手で入れたら。」

「きたない。」

「手がよごれる。」

「じゃあ、洗えばいいよ。」

「やだ。」

十二月、泥まみれになって、冬野菜の大根や白菜などを収穫する子どもたち。とびきりの笑顔で、喜んでいる姿が印象的でした。



これは、本校で例年行われている二・三・四年生と、嘉穂総合高校の生徒との「野菜作り」の体験・交流活動を通して成長した子どもたちの姿だと思えました。

一年生は、生活科の学習で、登下校を見守ってくださっている地域の方々と、サツマイモの苗植えや収穫を行いました。

五年生は、セカンドスクールで、飯塚青年会議所の協力を受け、ゆるのうら体験の杜で、ベンチやブラ

ンコ作りをしました。(町報十月号)

六年生は、「王塚太鼓」の練習を集中的に行い、桂東文化祭で素晴らしい演奏を披露してくれました。

このように、小規模単学級の特色(良さ)「全員が同じ体験ができる」を生かした様々な体験活動を行っています。

様々な人との出会いや、人数ならではの体験活動は、子どもにとっては、国語や算数などの教科では学べない、貴重な学習になります。

今、どの小学校も、一年後に迫る新学習指導要領の完全実施に向けて、増える授業時間、外国語(英語)などの新しい学習への準備に頭を悩ませています。

小規模校、地域の方の支援など、本校ならできる体験活動を特色としながら、準備を進めています。

